



第16回

市政世論調査の結果をお知らせします



市では、「躍動をかたちに進化するまち こだいら」をまちづくりの基本理念としていますが、今後、どのような政策を重点的に進めるべきかの質問には、「高齢者福祉の充実」29.9%、「地震などの防災対策」24.4%、「交通システムの充実」23.8%などの意見が上位を占めています。

市の将来都市像実現のための政策

昨年11月、20歳以上の市民2千人を対象に市政世論調査を行いました。その結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。調査では、生活環境、防災対策、子育て支援、健康・スポーツ、商店街、市政情報、施設の利用状況、市への要望などについて質問しました。

表1 市の将来都市像実現のための政策 (複数回答)

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 回答率 (%) (Response Rate). Items include 高齢者福祉の充実 (29.9%), 地震などの防災対策 (24.4%), 交通システムの充実 (23.8%), etc.

(15位まで)

住みよさへの評価

住みよさの質問には、「住みよい」と答えた方が「非常に住みよい」12.8%と、「まあまあ住みよい」65.7%をあわせて、78.5%と約8割近くになりました。反対に、「やや住みにくい」6.0%、「住みにくい」1.7%、「どちらとも言えない」12.2%は合わせて20.1%程度でした。

定住の意向

これからも住み続けたいと思えますかの質問には、「永住したい」31.0%、「当分住み続けたい」48.7%を合わせると、79.7%と約8割を占め、「できれば転居したい」8.0%、「転居したい」2.3%は合わせて10.3%でした。

表2 住みよさへの評価

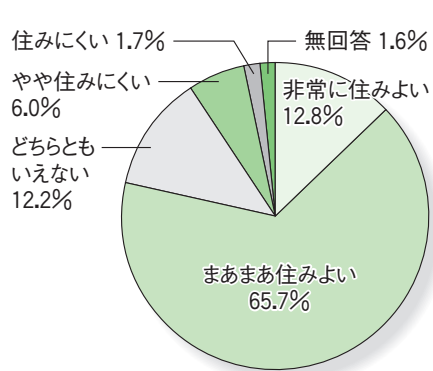
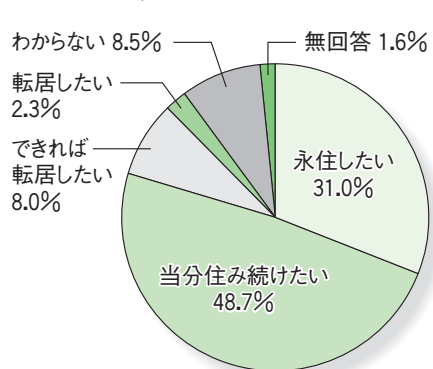


表3 定住の意向



防災対策

将来の大地震への不安については、「強く感じている」37.6%、「少し感じている」50.8%を合わせると、88.4%と約9割近くの方が不安を感じています。

子育て支援

子育てに対する不安や悩み(複数回答)は、「子どものしつけや教育」43.8%、「子どもの病気や発達」36.7%、「教育費などの経済的な負担」33.0%、「子どもの交友関係」30.1%などの順となっています。

健康・スポーツ

健康づくりのために「食生活に気をつけている」67.8%、「睡眠や休養をよくとる」47.3%、「定期的に健康診断などを受けている」35.6%、「散歩をする」24.1%などが上位を占めています。

商店街

地元商店街の利用状況の質問には、「ほとんど毎日利用」18.5%、「週に2~3回利用」21.5%、「週に1回ほど利用」15.0%、「月に1~2回ほど利用」12.6%、「月に1~3回程度」13.5%、「週1回程度」15.1%、「週2回以上」16.6%、「運動スポーツは特にしていない」39.3%、「年に数回程度」11.7%、「無回答」3.8%。

表4 住みよさへの評価 (比較)

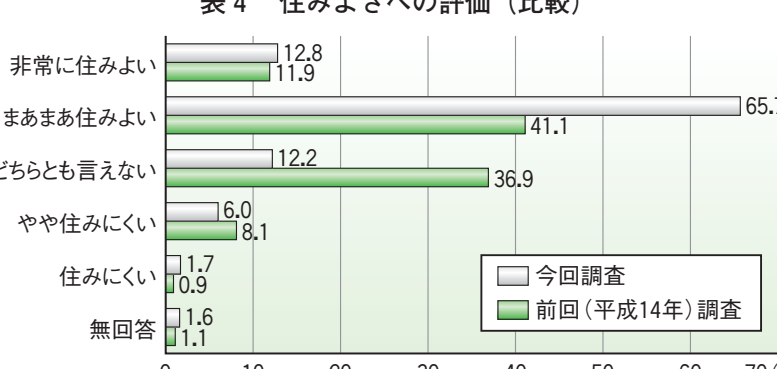


表5 定住の意向 (比較)

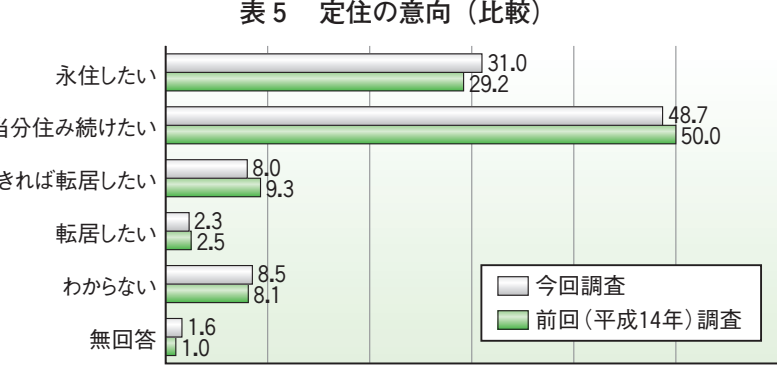


表6 将来の大地震への不安

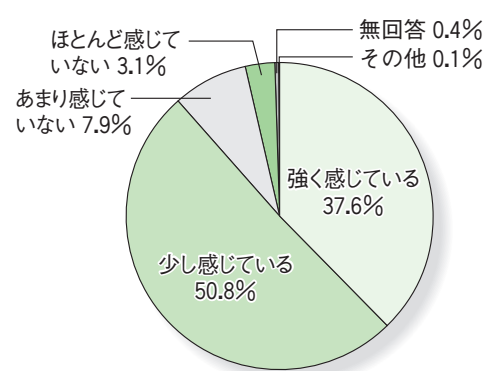


表7 運動・スポーツの実施状況

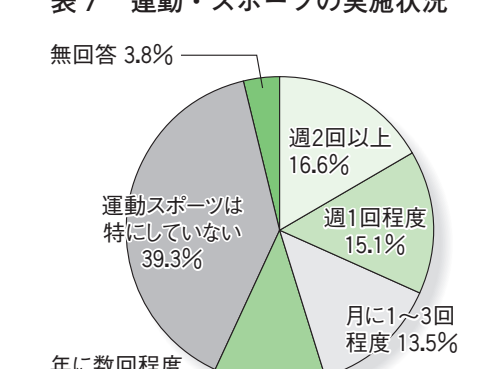


表8 地元商店街の利用状況

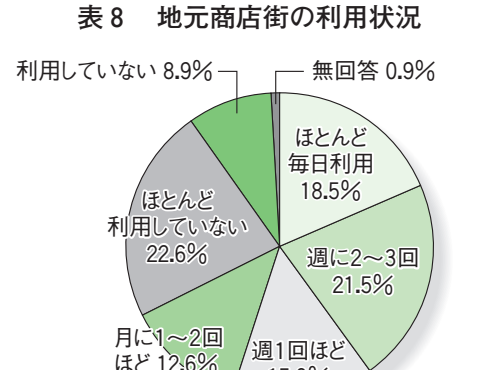
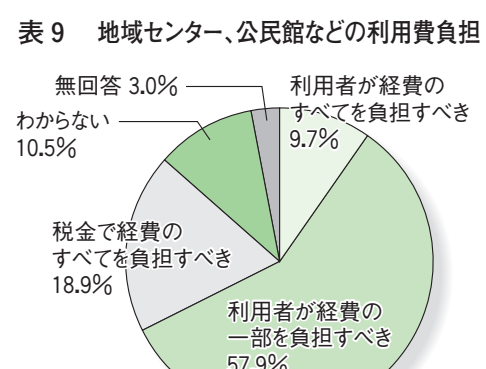


表9 地域センター、公民館などの利用費負担



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

市政情報

市政情報の入手方法(複数回答)は、「市報」34.6%、「インターネット」23.4%、「テレビ」19.5%、「ラジオ」15.0%、「新聞」11.7%、「その他」5.9%。

施設

第16回市政世論調査の詳細は、市役所1階市政資料コーナー、各図書館で報告書をご覧ください。なお、この報告書は、市政資料コーナーで1冊600円で販売しています。問合せ 秘書広報課 ☎042-346-95008